

梅雨が続く7月半ばに、小職、この編集後記を執筆しております。旧暦の和風月名では、7月は文月（ふみづき）です。一説には、七月七日の七夕には短冊に文字を書き、字の上達を願ったことからとのこと。昔のひとびとは、何とも風流であったと感心いたします。

ところが、今年の7月はこんな風情がまったく感じられない、ぎすぎすしたものとなってしまいました。本来であれば、TOKYO2020の開幕を7月24日に控え、日本中が活気にあふれている特別な夏であったはずでした。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、別な意味で特別な夏です。

時代が大きく変わりました。小職の印象に残っているのは、非常事態宣言中（4月7日から5月25日）の本屋の一風景です。小職がしばしば立ち寄る本屋では、売り上げ順に書籍が並べてあるのですが、自粛期間中は意外な本が上位にきていました。当初は、カミュ著「ペスト」が売り上げ1位となりました。これは、もっともで、日本だけでなく世界的に読まれたようです。「不条理」と直面したときに示される人間の姿を描いた名作です。私も買って読みました。かなりの難解な言い回しの文章ですが、かえってそれが独特な雰囲気を出していました。自粛も後半になってくると、五木寛之著「大河の一滴」が上位にランクされるようになりました。私の愛読書のひとつですが、正直、意外でした。五木氏の仏教思想に基づいた人生論に共感する読者が多かったということかもしれません。

自粛期間中は時間があります。小職、自分の本棚を整理していたところ、吉村昭氏の随筆が出てきました。流し読みをしたところ「時間の尺度」という言葉に遭遇しました。以前は読み飛ばしていたようですが、今の小職には、最も共感できる言葉でした。吉村氏は、年齢を重ねることにより「時間の尺度」という感覚をもてるようになった。これにより、「過去に生き、そして死んだ人が身近に感じられるようになった」と述べています。なるほどと思いました。脊椎脊髄疾患にはさまざまな診断・治療法があります。「時間の尺度」をもってそれらをながめれば、若いころの自分とは異なった解釈ができるのかもしれません。

さて、本号の特集は「リハビリテーションにおけるロボット技術の最近の進歩」です。最先端の技術を取り入れたロボットリハには大きな可能性を感じます。反面、ロボット技術ですべての難題が解決されるわけではありません。われわれはロボットの長所・短所を十分に理解したうえで、現在の医療に最も適した形でロボットリハのシステムを組み立てていく必要があります。最も大切なのは、ロボットを使うわれわれ「人間」なのです。ロボット技術は最先端の学問ですが、このようなものこそ「時間の尺度」をもって考えてみるのはいかがでしょうか？ 経験豊富な先生方であれば、きっと解釈に余裕ができると思います。若い先生方は、未来の自分を想像して、その自分から問いかけてみるのはいかがでしょうか？ 新たな展開が生まれるかもしれません。

（山崎正志）

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志（編集委員長）
金 彪（副編集委員長）
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 谷 論 筑田博隆
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
原 政人 飛驒一利 松山幸弘

Vol. 33 No. 8
(2020年8月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価（本体2,500円＋税）

（配送料別）

年ごめ予約購読料 33,300円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>
（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2020,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前
に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088、
FAX 03-5244-5089、e-mail: info@jcopy.or.jp）の
許諾を得てください。